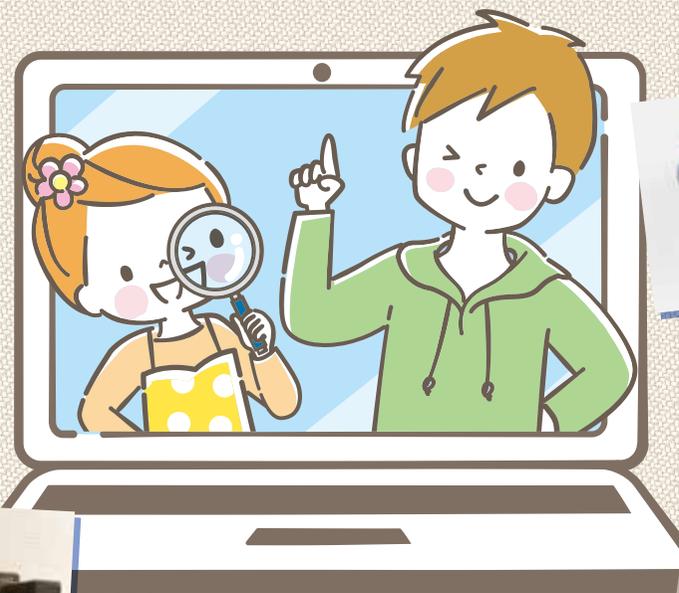


平和学習デジタルコンテンツ

「戦争と人々の暮らし」

(改訂版)



大阪空襲を語り継ぐ 平和ミュージアム

ピースおおさか



ピースバード

もくじ

- 平和学習デジタルコンテンツ
「戦争と人々の暮らし」の制作にあたって 2
- 平和学習デジタルコンテンツ
「戦争と人々の暮らし」のポイント 4
- 使い方 ①カードの表示 5
- 使い方 ②カードの内容（テーマを見る） 6
- 使い方 ③年表からカードを探す（年表を見る） 7
- 使い方 ④写真の探し方（写真を見る） 8
- 使い方 ⑤カードを作る 9
- 使い方 ⑥戦争体験証言映像を見る 10
- 使い方 ⑦平和新聞を作る 11
- 使い方 ⑧教員用 13
- ご利用方法 14
- ご利用にあたって 15
- 大阪府内の平和資料館紹介 16



平和学習デジタルコンテンツ 「戦争と人々の暮らし」の制作にあたって

戦争については小学6年生の歴史または総合学習で学習し、そのカリキュラムの中で平和資料館を訪れることがあります。我々平和資料館としても、学校側の課題に答えられるような教育環境づくりに貢献したいと考えていました。

「戦争と人々の暮らし」は、学校における平和学習の授業での利用を目的としたデジタルコンテンツです。テーマ、写真、年表からカードを選択すると、カードの解説や関連写真などを見ることができます。また、戦争体験者の証言映像も視聴することができます。自分が気になった写真を選んで、調べたこと、分かったことなどが書き込めるようなマイカード作成機能もあります。そして、まとめ学習として、コンテンツ内の写真を活用して「平和新聞」を作成する機能も搭載しています。児童が作ったマイカードや平和新聞は教員と共有することも可能です。

学校の平和学習を行う過程での平和資料館見学の事前事後学習として、授業での活用、普及を目的に制作しました。単に学校教材のデジタル化ではなく、大阪府内、府外の各地域の平和資料館・博物館などのデジタルアーカイブ資料を充実させることで、学校の授業において使いやすい仕組みを作りました。

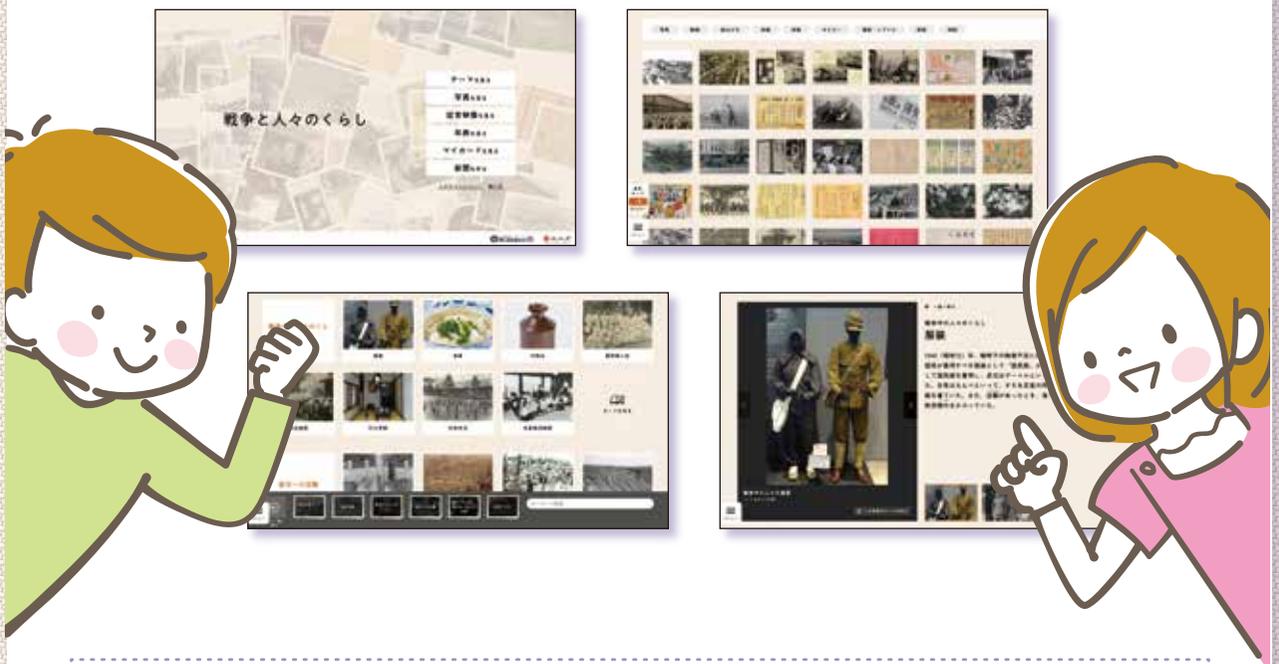
また、本コンテンツには、児童の意見が教員と共有できるような対話型の機能を搭載しています。これによって授業の中で、教員と子どもたちの相互理解、そして児童の思考力や判断力を高められるようなコンテンツに仕上がっています。

内容は小学6年生の社会科の教科書(歴史)に沿っており、6年生で学習していない漢字についてはルビを入れています。コンテンツ内には様々な資料を掲載していることから、6年生に限らず他の学年でも内容に合わせて利用いただけます。

平和学習においても、ICT技術を用いた学習コンテンツを導入し、平和をイメージしやすくなるようなデジタル教材等を提示することで、幅広い視野を持つ学びが展開できれば幸いです。

本コンテンツは、令和5年度に引き続き、令和6年度文化庁文化芸術振興費補助金Innovate MUSEUM事業に採択された「平和教育へのアプローチー平和資料館および学校との連携による平和学習モデルの発展・活用ー」プロジェクトの一環として、公益財団法人大阪国際平和センター（ピースおおさか）が中心となり、堺市立平和と人権資料館、吹田市立平和祈念資料館、豊中市人権政策課人権平和センター豊中、大阪市小学校教育研究会社会部と連携して制作したものです。また、学術交流・協力に関する協定により、国立民族学博物館の協力のもと、コンテンツの構築および運用を行っています。

本事業実施にあたり、ご協力及びご助言をいただきました関係各所の皆様にご心より感謝申し上げます。



著作権について

このコンテンツの著作権は、公益財団法人大阪国際平和センター（ピースおおさか）に帰属します。また、コンテンツ内の情報の著作権は、明記されている場合を除き、公益財団法人大阪国際平和センター（ピースおおさか）に帰属します。学校における平和学習の授業での利用を除き、無断で転載・複製などを行うことはできません。

平和学習デジタルコンテンツ 「戦争と人々の暮らし」のポイント

1 カード

- 「戦争と人々の暮らし」に関する項目をカードで表示。
- 1枚のカードには解説、関連写真などを掲載。解説文の読み上げ機能も搭載している。

2 カードの探し方

- カードは「テーマ」「写真」「年表」から探すことができる。
- テーマはキーワード入力による、タイトル検索が可能。
- 写真は9つ（写真、動画、絵はがき、絵画、実物、ポスター、模型・レプリカ、図表、地図）に分類。表示方法は「一覧」と「ギャラリー」モードを選べる。
- 年表は「カード」と「テキスト」モードを選べる。

3 カード・平和新聞を作る

- コンテンツ内にある写真を選び、自分でカードや平和新聞を作ることができる。
- 調べたこと、分かったことをまとめたり、作成したカードや平和新聞を教員と共有する機能もあるため、学習発表などでの活用も可能。
- 平和新聞は印刷することができる。

4 戦争体験の証言映像を見る

- 映像にはいくつかのチャプターが付されており、該当箇所からの再生することができる。
- 映像から内容と関連するカードのページに移動することができる。

使い方

① カードの表示

トップ画面



「テーマを見る」「写真を見る」「年表を見る」からカードを探します

テーマ一覧



写真一覧



年表



使い方

② カードの内容(テーマを見る)

各テーマに入っているカードの内容一覧です。授業で使いたいカードを自由に選び、表示させることができます。



【昭和初期のくらし】

- ・産業の発展と近代の大阪
- ・近づく戦争

【戦時体制】

- ・国家総動員法と国民生活の変化
- ・物資は次々と戦争へ
- ・切符・配給制
- ・町会・隣組
- ・動員
- ・出征(若者は戦地へ)

【都市への空襲】

- ・大阪空襲
- ・8回の大阪大空襲
- ・堺空襲
- ・吹田空襲
- ・豊中空襲
- ・焼夷弾
- ・1トン爆弾、機銃掃射
- ・模擬原爆
- ・防空壕
- ・大阪砲兵工廠
- ・他都市の空襲
- ・広島、長崎、沖縄

【戦争中の人々のくらし】

- ・服装
- ・食事
- ・代用品
- ・国防婦人会
- ・防空演習
- ・灯火管制
- ・学校生活
- ・学童集団疎開

【傷ついた日本、焼けあとのからの出発】

- ・終戦
- ・終戦直後の人々のくらし(食)
- ・終戦直後の人々のくらし(住)
- ・戦後の学校
- ・引揚、戦争孤児、シベリア抑留

【戦争いせき】

大阪城周辺をはじめ、堺市、吹田市、豊中市に残る戦争いせきを紹介。

◆テーマ内のカードタイトル検索機能

テーマ一覧の中でキーワードを入力すると、
タイトルで合致したキーワードがハイライトされます。



使い方

③年表からカードを探す（年表を見る）

- ・年表は、カードモードとテキストモードの切り替えが可能です。
- ・カードモードの場合は、カード画像をタップします。
- ・テキストモードの場合は、カードの項目をタップします。



使い方

④ 写真の探し方(写真を見る)

◆ 一覧モード

- 全写真が表示されます。
- 9つの項目に分類され、絞り込むことができます。
- 写真をタップすると、関連するカードが表示されます。



◆ ギャラリーモード



- スライドさせて全写真を見ることができます。
- 写真をタップすると、関連するカードが表示されます。



使い方

⑤ カードを作る

◆作り方①

- ・テーマ一覧の「カードを作る」をタップします。
- ・写真を選択します。



◆作り方②

- ・各カードにある「この写真でカードを作る」をタップします。





タイトル
(タイトルを自由につけてください。)

名前(児童の名前)

調べたこと・分かったこと

感じたこと・思ったこと

自由記述欄
(先生が自由に設定してください。)

- 写真1枚につき1枚のカードを作ることができ、カードは複数枚作ることができます。
- 「マイカードを見る」で自分で作ったカードを表示することができます。
- マイカードは、編集、削除ができ、一定期間保存されます。
- 「提出する」をタップすることで、そのカードが教員に共有されます。
- 提出後は削除はできません。
- 印刷する場合は、文字だけが印刷され、写真は表示されません。

使い方

⑥ 戦争体験証言映像を見る

- 空襲、集団疎開、模擬原爆、広島、長崎、引揚などに関する証言映像を視聴することができます。
- 映像にあるチャプターから、該当箇所から再生することもできます。
- 映像には内容に関連するカードが紐づけられています。映像を見ながら、カードを見て内容を具体的に学習することができます。

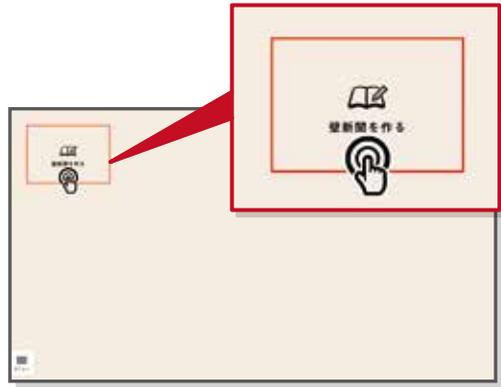


使い方

⑦ 平和新聞を作る

◆ 作り方

「新聞を作る」をタップ

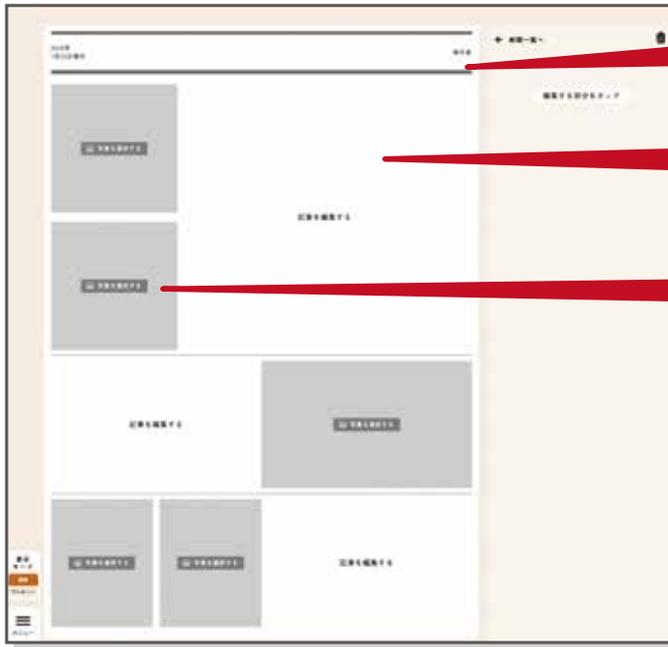


新聞のレイアウトを
選びます



好きなレイアウトを選ぶことができます。

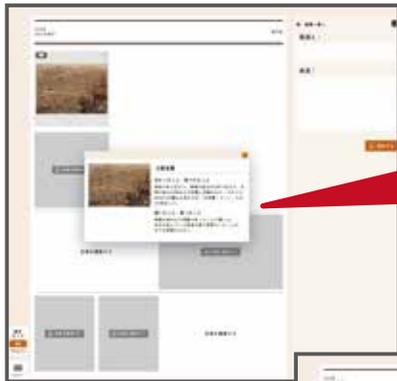
レイアウトによって、掲載できる写真の数や入力できる文字数が異なります。



新聞タイトル、発行者

見出し、本文

写真を選ぶ
(画像一覧またはマイカードから)



マイカードを
見ながら
編集することが
できます。

完成した新聞



「提出」した
新聞に教員が
コメントを送る
ことができます。



- ・提出後は、編集、削除はできません。
- ・教員がコメントを送ると、編集、削除できるようになります。
- ・新聞は印刷することができます。
- ・著作権上、新聞に使える写真と使えない写真があります。使えない写真を選択した場合は、印刷時に表示されません。



新聞使用(印刷)不可マーク

使い方

⑧ 教員用

※教員用と児童用ではURLが異なります。

① 質問、まとめの例

テーマごとに想定される質問や、児童に考えてもらうためのまとめの例を各テーマのカード一覧の末尾に、参考として載せています。



② マイカード、平和新聞の共有

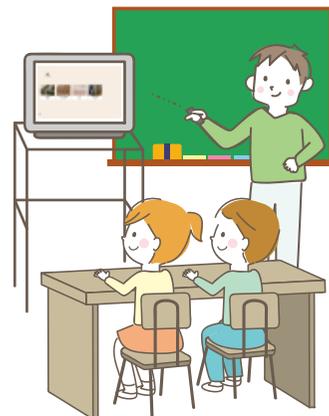
児童が作ったカードや平和新聞を教員に「提出」させることが可能です。また、児童から「提出」された平和新聞にはコメントをつけることができます。平和新聞は印刷することも可能です。



※マイカードや新聞に児童が自分の名前を記入することで作成者の識別が可能です。

③ 教室内のテレビでの視聴可能

コンテンツ画面を教室のテレビに映せば、拡大した写真や、証言映像などを教室の皆で視聴することができます。また、児童が作成したマイカードや平和新聞を映して、学習発表の場を設けることもできます。



ご利用方法

- ①ご利用希望の方は、ピースおおさかのホームページにある利用申込フォームに必要項目を入力し、送信してください。

https://www.peace-osaka.or.jp/education/peacestudy_disitalcontent/

※お申込みは学校単位ではなく、クラス単位でお願いします。



- ②平和学習デジタルコンテンツのURL (QRコード)、ID、パスワードをメールでお伝えします。
 - ID、パスワードの発行には1週間ほどかかります。ご利用前の早い時期にお申込みください。
 - ID、パスワードの有効期限は毎年度末です。年度をまたいでのご利用は再度お申込みください。

- ③今後の改善のため、利用後にピースおおさかのホームページにあるアンケートにご協力ください。

ご不明な点がございましたらピースおおさかまでお電話ください。
(TEL06-6947-7208)

ご利用の流れ



①ピースおおさかホームページの申込フォームに入力



②ID、パスワードを発行 (メールにて送付)



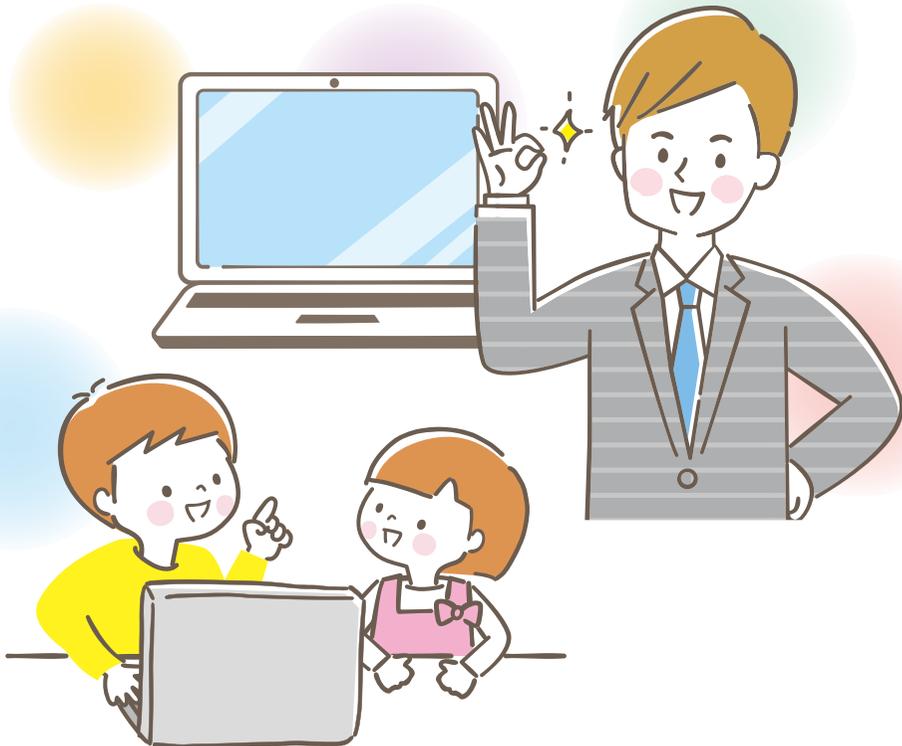
③学校の端末で使用



④使用後、アンケートを送信

ご利用にあたって

- ・インターネットへのアクセス環境が必要となります。
- ・教員用と児童用ではURLが異なります。
- ・児童の使用に際しては、個々の端末でQRコードから入ると便利です。



(ご注意)

コンテンツの利用は学校内の端末(教員・児童用)に限ります。
コンテンツ内に掲載されている画像の二次使用はできません。

コンテンツのメンテナンス実施などの最新情報は、ピースおおさかの
ホームページでご確認ください。

大阪府内の平和資料館紹介

ピースおおさか (大阪国際平和センター)

ピースおおさかは、1991(平成3)年に開館した、大阪城公園内にある資料館です。大阪空襲の犠牲者を追悼し、平和を祈念するとともに、空襲を中心に大阪の人々の戦争体験に関する資料を展示しています。

〒540-0002 大阪府大阪市中央区大阪城2-1
TEL 06-6947-7208 FAX06-6943-6080
<https://www.peace-osaka.or.jp/>



堺市立平和と人権資料館 フェニックスミュージアム

堺市立平和と人権資料館は、堺市の人権擁護都市宣言(1980(昭和55)年)、市議会の非核平和都市宣言に関する決議(1983(昭和58)年)の趣旨を生かし、戦争の悲惨さ、平和の尊さ、人権の大切さ、そしてお互いの人権や地球環境を守ることの大切さを訴え、次世代に伝える施設です。

〒599-8273 大阪府堺市中区深井清水町1426
ソフィア・堺内
TEL :072-270-8150 FAX:072-270-8159



<https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/jinken/jinken/heiwa-jinkenshiryokan/>

大阪府内の平和資料館紹介

吹田市立平和祈念資料館

吹田市立平和祈念資料館は、1992(平成4)年に平和祈念資料室として開設、2012(平成24)年には平和祈念資料館として現在の地でリニューアルオープンしました。市民からの寄贈品を中心に、戦時中の国民生活や軍隊の実物資料、写真パネルなどを展示しています。平和映画会や企画展・平和に関する図書の貸出なども行っています。

〒565-0862 大阪府吹田市津雲台1丁目2-1
(千里ニュータウンプラザ8階)

TEL 06-6873-7793 FAX 06-6873-7796

<https://www.city.suita.osaka.jp/kurashi/1018573/1018579/1018583/index.html>



豊中市立人権平和センター豊中

人権平和センター豊中は、2020(令和2)年4月に開館し、相談および人権・平和啓発事業、こどもの学び・居場所事業、地域交流事業などを実施しています。3階の平和展示室では、豊中空襲や原爆、その他平和についての展示を幅広く行っています。また、戦争体験談の上映、平和に関する本の読み聞かせなども展開しています。平和教材として実物資料の小中学校への貸出も行っています。

〒561-0884大阪府豊中市岡町北3丁目13-7

TEL 06-6841-1313 FAX 06-6841-1310

https://www.city.toyonaka.osaka.jp/shisetsu/sonota/toyo_center/index.html



文化庁 令和6年度Innovate MUSEUM事業

「平和教育へのアプローチ

—平和資料館および学校との連携による平和学習モデルの発展・活用—」



企画・編集：公益財団法人大阪国際平和センター

発行：公益財団法人大阪国際平和センター

〒540-0002 大阪市中央区大阪城2-1

発行日：2025(令和7)年2月

© OSAKA INTERNATIONAL PEACE CENTER